


DVDライター

取扱説明書

DVDirect Express VRD-P1

お買い上げいただきありがとうございます。

 **警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害
など人への危害、また火災などの財産への損害
を未然に防止するため、次のことを必ずお守りくだ
さい。



「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、ケーブルに傷がないか、故障したまま使
用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損していることに気がつ
いたら、すぐにソニーの相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においが
したら
煙が出たら



- ① ケーブルを抜く
- ② ソニーの相談窓口
に連絡する

裏表紙にソニーの相談窓口の連絡先があります。

警告表示の意味

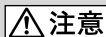
この取扱説明書や製品では、次の
ような表示をしています。



危険
この表示のある事項を守らない
と、極めて危険な状況が起こり、そ
の結果大けがや死亡にいたる危害
が発生します。



警告
この表示のある事項を守らない
と、思わぬ危険な状況が起こり、そ
の結果大けがや死亡にいたる危害
が発生することがあります。



注意
この表示のある事項を守らない
と、思わぬ危険な状況が起こり、
けがや財産に損害を与えることが
あります。

注意を促す記号



火災



感電



指のケガに
注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示

目次

安全のために	2
使用前に必ずお読みください	4
付属品を確かめましょう	4
使用上のご注意	4
本機について	5
対応機器	5
使用可能なディスク	5
各部の名前	6
ディスクの入れかた	7
ダビングする	8
再生する	9
ダビングできる時間とダビングにかかる時間	10
ダビングできる時間(ディスク1枚あたり)	10
ダビングにかかる時間	10
ハイビジョン画質(HD)ディスクの再生互換性について	11
? 故障かな?と思ったら	12
取り扱い上のご注意	13
主な仕様	14
保証書とアフターサービス	14
安全のために	15

ハンディカムに付属の取扱説明書もご覧ください

本機はハンディカムと接続してご使用いただく機器です。お手持ちのハンディカムの取扱説明書もあわせてご覧ください。

本書で「ハンディカム」とは、ソニー製ビデオカメラのことをさします。

使用前に必ずお読みください

付属品を確かめましょう

はじめに、付属品を確認してください。
万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

- 取扱説明書 <本書>
- 保証書
- ソニーご相談窓口のご案内

使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- 本機に振動や衝撃を与えないでください。記録や再生ができなくなることがあります。
- 大音量の場所では本機を使用しないでください。本機の記録や再生ができなくなることがあります。
- USBケーブルをハンディカムに接続する場合、端子の向きを確認して接続してください。無理に押し込むと端子部が破損することがあります。また本機およびハンディカムの故障の原因となります。

録画に際してのご注意

- あなたがビデオで録画・録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で外部メディアなどに記録ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で外部メディアの記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

本機について

本機をハンディカムと接続するだけで、パソコンを使わずに簡単に動画をディスクにダビングしたり(ワンタッチディスクダビング)、ディスクを再生することができます(ワンタッチプレイ)。また、ハンディカムをテレビに接続すると、テレビ画面で動画の再生をお楽しみいただけます。



さらに、ハンディカムの画面から操作すれば、動画を選んでダビングしたり、再生できるなど、いろいろな使いかたができます。機能はハンディカムによって異なりますので、詳しくはハンディカムに付属の取扱説明書をご覧ください。

対応機器

- 本機はハンディカム専用の製品です。DVDDirect Express対応のハンディカムに接続して使用してください。
対応するハンディカムについて詳しくは下記のホームページをご覧ください。
<http://www.sony.jp/support/dvdirect/index.html>
- 本機に対応していないハンディカムや他社製のビデオカメラなどに接続してディスクのダビングや再生に使用することはできません。
- 本機をパソコンに接続してディスクのダビングや再生に使用したり、外付けDVDドライブとして使用することはできません。

使用可能なディスク

本機では、新品または未使用の12cmディスクにダビングできます。

ディスクの種類	マーク	対応可能なバージョン
DVD+R		16倍速メディアまで
DVD-R		16倍速メディアまで

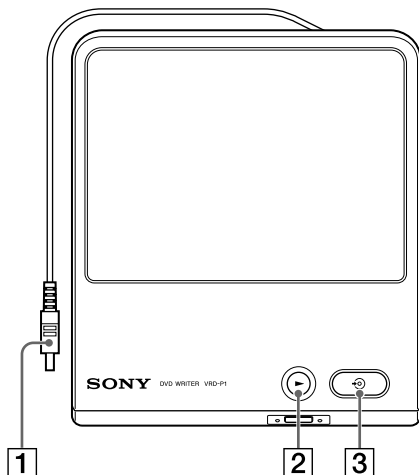
- 2層ディスク、8cmディスクは使用できません。
- DVD+RW、DVD-RWは使用できません。

ディスクに関するご注意

- 本機では新品または未使用のディスクのみ使用できます。
- 市販の記録型ディスクの中には、規格上の品質や性能を満足しない製品があります。そのようなディスクを使用した場合、正常に記録できない場合があります。
- 記録済みのディスクは、傷や汚れ、また記録状態や再生機器の特性などにより、再生できない場合があります。
- 市販のDVDソフトや他の機器でダビングしたディスクは再生できません。

各部の名前

本体正面



① USBケーブル(8, 9ページ)

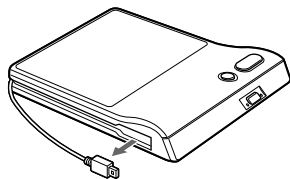
② 再生ボタン(9ページ)

③ ワンタッチディスクボタン(8ページ)

USBケーブルの取り扱い

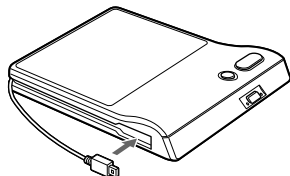
USBケーブルを取り出す

本体側面のUSBケーブルのコネクタ部分をつまんで取り出してください。取り出しにくい場合は、コネクタの先端部分を押し、コネクタを浮かせるようにしてからコネクタ部分をつまんでください。

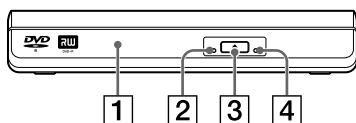


USBケーブルを収納する

本体側面の溝に沿ってUSBケーブルをはめ込んでください。



本体前面



- | | |
|------------------|--|
| 1 ディスクトレイ | 4 緊急取り出し穴 |
| 2 アクセスランプ | ディスクを取り出せないときに、ピンやクリップなどをまっすぐ差し込んでください。ディスクトレイが開きます。 |
| 3 ▲(ディスクトレイ開)ボタン | |

電源について

本機の電源はハンディカムから供給されます。ハンディカムは必ずACアダプターを使ってコンセントに接続してください。本機をコンセントに接続する必要はありません。

ディスクの入れかた

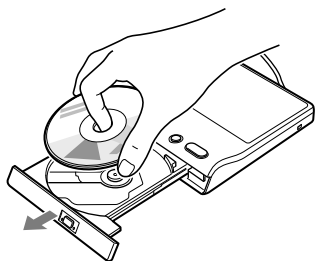
本機はハンディカムに接続している場合のみ、ディスクトレイを開くことができます。

1 ▲(ディスクトレイ開)ボタンを押して、ディスクトレイを開ける。

ディスクトレイは途中までしか開きません。手で引き出してください。

2 記録面を下にしたディスクをディスクトレイに置く。

カチッと音がするまで確実に押し込んでください。



ディスクの記録面には触れないでください。

3 手でディスクトレイを押して閉める。

カチッと音がするまで押し込んでください。

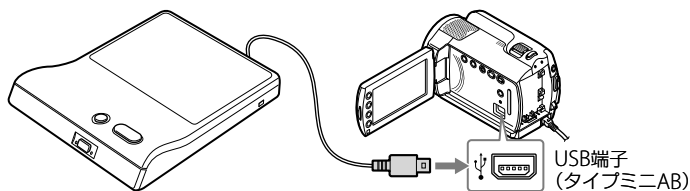
ダビングする

本機をハンディカムに接続して、ワンタッチディスクボタンを押すだけで、動画をディスクに保存できます。

1 ハンディカムの電源を入れる。

ハンディカムは必ずACアダプターを使ってコンセントに接続してください。ハンディカムにACアダプターを使用しない場合、本機を接続しても本機は動作しません。

2 本機をハンディカムのUSB端子に接続する。



USB延長ケーブルは使用できません。

3 新品(未使用)のディスクを入れる。

詳しくは「ディスクの入れかた」(7ページ)をご覧ください。

4 (ワンタッチディスク)ボタンを押す。

ハンディカムで新しく録画された、まだ一度もダビングされていない動画をダビングします。

ダビングが1枚のディスクで終わらないときは、手順3と4を繰り返してください。一度ダビングしたディスクに後で画像を追加録画することはできません。

ハンディカムからの操作について

ハンディカムの画面から操作すれば、動画を選んでダビングするなど、いろいろな方法でダビングできます。詳しくはハンディカムの取扱説明書をご覧ください。

ダビングの確認について

本機へダビングした動画をハンディカムから削除する前に、正しくダビングできたかどうか、再生して確認してください。

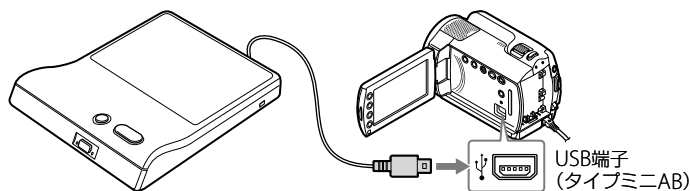
再生する

ハンディカムの画面や、ハンディカムと接続したテレビなどでダビングしたディスクを見ることができます。テレビで見る場合は、あらかじめハンディカムとテレビを接続してください。テレビとの接続方法について、詳しくはハンディカムの取扱説明書をご覧ください。

1 ハンディカムの電源を入れる。

ハンディカムは必ずACアダプターを使ってコンセントに接続してください。ハンディカムにACアダプターを使用しない場合、本機を接続しても本機は動作しません。

2 本機をハンディカムのUSB端子に接続する。



USB延長ケーブルは使用できません。

3 本機で作成したディスクを入れる。

詳しくは「ディスクの入れかた」(7ページ)をご覧ください。

4 ⊙(再生)ボタンを押す。

ディスクの最初から再生が始まります。

ハンディカムからの操作について

ハンディカムを操作して、再生することもできます。詳しくはハンディカムの取扱説明書をご覧ください。

作成したディスクの他機器での再生について

ハイビジョン画質の撮影に対応したハンディカムをご使用の場合は、ハイビジョン画質のディスク(AVCHD規格)を作成できます。他の機器での再生については、11ページをご覧ください。

ダビングできる時間とダビングにかかる時間

ダビングできる時間(ディスク1枚あたり)

ディスク1枚にダビングできる時間は、撮影したときの録画モードによって変わります。

ハイビジョン画質(HD)		標準画質(SD)	
撮影時の録画モード	ダビングできる時間*	撮影時の録画モード	ダビングできる時間*
HD FH	約30分	STD HQ/HQ	約1時間
HD HQ	約55分	SP	約1時間30分
HD SP	約1時間10分	LP	約3時間
HD LP	約1時間35分		

* ディスク1枚あたり

🗨️ちょっと一言

- ハイビジョン画質(HD)の動画を標準画質(SD)に変換してダビングできるハンディカムの場合、変換すると最大で約2時間40分の動画を1枚のディスクにダビングできます。(ダビングする動画の時間によって、作成できるディスクの画質は変わります。)
- ハンディカムの機種によって使用できる撮影時の録画モードは異なります。

ダビングにかかる時間

ダビングするときに要する時間は、使用するハンディカムの機種や撮影したときの録画モード、またはシーンの数によって変わります。一般に、撮影したときの録画モードにおける画質(ビットレート)が高いほど、ディスクへのダビング時間はかかります。また画質を変換してダビングする場合は、実際の撮影時間以上に時間がかかります。ディスク1枚にいっぱいまで記録した場合、ダビングの所要時間はおおよそ次のようになります。

ハイビジョン画質(HD)または標準画質(SD)の動画をそのままの画質でダビング	約20分～1時間
ハイビジョン画質(HD)から標準画質(SD)に動画を変換してダビング	約1時間5分～3時間

📌ご注意

- [HD FX]など、18Mbpsを超えるビットレートの録画モードで撮影されたハイビジョン画質(HD)の動画は、AVCHD規格の規定によりダビングできません。
- 連続して撮影された動画の時間(1シーンの時間)が、ディスク1枚にダビングできる時間を超える場合、そのままではダビングできません。ハンディカムの編集機能を使って、あらかじめその動画を分割してください。

ハイビジョン画質(HD)ディスクの再生互換性について

DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質(HD)のディスクを再生できません。

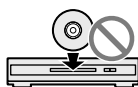
ハイビジョン画質(HD)のディスクはDVDプレーヤーやDVDレコーダーに入れられません。ディスクの取り出しができなくなったり、警告なしに画像が消去されたりする恐れがあります。

ハイビジョン画質(HD)のディスクは、ブルーレイディスクプレーヤー/レコーダー、「プレイステーション3」などのAVCHD規格に対応した機器で再生できます。

ディスクを再生できる機器

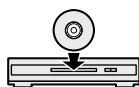
ハイビジョン画質(HD)のディスク

再生できない



DVD機器

再生できる



AVCHD規格対応機器

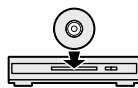
再生できる



パソコン*

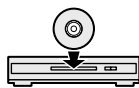
標準画質(SD)のディスク

再生できる



DVD機器

再生できる



AVCHD規格対応機器

再生できる



パソコン

* AVCHD規格の再生に対応するアプリケーションをインストールしたパソコンをお使いください。また、動作環境を満たしたパソコンでも、再生画像のノイズ、コマ落ち、音途切れが発生することがあります。(これは、ダビングしたハイビジョン画質(HD)のディスクの品質によるものではありません。)




❓故障かな？と思ったら

ソニーの相談窓口にご相談になる前に、下記の項目をもう一度確認してください。また、お使いのハンディカムの取扱説明書もあわせてご覧ください。それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。

ハンディカムに接続しても操作できない。

- 本機に対応しているハンディカムを使用しているかどうか確認してください(5ページ)。
- ハンディカムがACアダプターを使ってコンセントに接続されているかご確認ください。
- ハンディカム側で、USB接続の操作や設定が正しく行われているかどうか確認してください。
- ハンディカムからUSBケーブルを抜き、ハンディカムの電源を入れ直してから再び操作を行ってください。

ディスクにダビングできない。

- ハンディカムに、 (ワンタッチディスク) ボタンでダビングしていない動画が無ければ、 ボタンでダビングできません。 ボタンでは、同じディスクを再び作成することはできません。) 同じディスクを複数作成する場合は、ハンディカムの [ごだわりダビング] を選択してダビングしてください。
- 本機に対応するディスクを使用しているかご確認ください(5ページ)。
- 新品(未使用)のディスクを使用しているかご確認ください。すでに記録されていたり、他機器でフォーマットされているディスクは本機で使用できません。
- ディスクの記録面に傷や汚れ、指紋などがついていないかご確認ください。
- ディスクの記録面を下にしてディスクトレイに入れているかご確認ください。

- 本機の上にハンディカムを乗せないでください。本機の振動の影響でハンディカムの動作に問題が生じる場合があります。

ディスクを再生できない。

- 本機でダビングしたディスクのみ、本機とハンディカムを接続してディスクを再生できます。市販のDVDビデオソフトや他の機器でダビングしたディスクなどは再生できません。
- ディスクの再生面に傷や汚れ、指紋などがついていないかご確認ください。
- ディスクの再生面を下にしてディスクトレイに入れているかご確認ください。

ディスクが取り出せない。

▲(ディスクトレイ開)ボタンが効かない。

- ハンディカムからUSBケーブルを抜き、ハンディカムの電源を入れ直して再び接続した後、▲(ディスクトレイ開)ボタンを押してください。それでも取り出せない場合は、緊急取り出し穴を使ってトレイを開けてください(7ページ)。
- 本機はハンディカムと接続している場合のみ、ディスクトレイを開くことができます。ハンディカムとの接続をご確認ください。
- ハンディカムがACアダプターを使ってコンセントに接続されているかご確認ください。
- ディスクへの書き込み中や、再生中はディスクの取り出しができません。

取り扱い上のご注意

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
炎天下や熱器具の近く、または夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
正しく記録できないことがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ほこりの多い場所
砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。

本機表面のお手入れ

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下は避けてください。
 - －シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類
 - －上記が手に付いたまま本機を扱う
 - －ゴムやビニール製品との長時間接触

輸送について

本機を単独で輸送する場合は、お買い上げ時の梱包箱を使用してください。

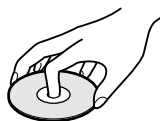
本機を移動するときは、その前に必ずディスクを取り出してください。

結露現象について

急激な温度変化は避けてください。寒いところから暖かいところに移したり、室温を急に上げた直後は使わないでください。内部に結露が生じている場合があります。使用中に急激に温度が変化した場合は、電源を切って1時間以上待ち、それから電源を入れ直してください。やむをえず本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に本機を入れ、空気を抜き密封してください。その状態で約1時間放置し、移動先の温度になじんでからご使用ください。

ディスクの取り扱いについて

- ディスクは外縁を支えるようにして持ちます。再生/録画面に触れないでください。



- ディスクに紙などを貼ったりしないでください。



- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房機具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽く拭きます。
- 記録用ディスクにキズやほこりがあると正しいデータが記録できないことがあります。取り扱いには充分ご注意ください。

主な仕様

録画・ダビング

対応機器

DVDirect Express対応ハンディカム

対応するハンディカムについて詳しくは下記のホームページをご覧ください。

<http://www.sony.jp/support/dvdirect/index.html>

記録できるディスク

DVD+R、DVD-R

12cmディスク

再生

再生可能ディスク

VRD-P1でダビングしたディスク

(上記以外は非対応)

その他

消費電力：最大7 W

動作温度：5℃～35℃

保存温度：-20℃～+60℃

外形寸法：143×162.5×25 mm

(突起部を含む)(幅×奥行き×高さ)

本体質量：

約400 g

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- “ハンディカム”、**HANDYCAM**はソニー株式会社の登録商標です。
- DVDirectとDVDirectロゴはソニー株式会社の商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では、™、®マークは明記していません。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

このDVDライターは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はDVDライターの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。



下記の注意事項を守らないと、**火災、大けがや死亡**にいたる危害が発生することがあります。

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のある場所には置かない



禁止

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。

分解や改造をしない



分解禁止

火災や感電の原因となります。特に、本機に使われているレーザー光が目にあたると危険です。内部点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない



禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐにケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。



下記の注意事項を守らないと、けがや財産に損害を与えることがあります。

ディスクトレイの開閉時、手をはさまれないようにする

ディスクトレイが開閉する際に、手をはさまれないようにご注意ください。



ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを使用しない

本部内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。



幼児の手の届かない場所に置く

ディスクトレイなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



回転しているディスクにはさわらない

ディスクトレイを開けると、ディスクが回転していることがあります。回転しているディスクにさわると、けがの原因となることがあります。



ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置、取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



禁止

コード類は正しく配置する

接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続、配置してください。



指示

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。



禁止

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

<http://www.sony.co.jp/support>

使い方相談窓口

フリーダイヤル…………… 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話… 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル…………… 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話… 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX (共通) 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に

[101]+[#]

を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

P/N 7825000085B

Printed in China

<http://www.sony.co.jp/>